
FX初心者のための
FX入門ガイド

FX初心者がはじめに読む本

著作権

◆著作権について

本教材は、著作権法で保護されている著作物です。

本ガイドの著作権は、
ジャパントレーダーズアカデミー、ならびに、中村拓哉、に帰属します。

書面による事前許可なく、本教材の一部、または全部をインターネット上に公開すること、流用および転売(オークション含む)することを禁じます。

本教材をあらゆるデータ蓄積手段(印刷物、電子ファイル、ビデオ、DVD、およびその他電子メディアなど)により複製、流用および転載することを禁じます。

初心者のためのFX入門ガイド

こんにちは！
ナビゲーター 兼 講師 の中村拓哉です。

この【特典2】では、

「FX初心者のためのFX入門ガイド」について、お伝えします。

この入門ガイドを作成するにあたりまして、著者が意識したことは、行動の妨げとならないよう、必要最低限の事柄についてのみ解説をした、ということです。

FX、そして、水平線メソッドを学習実践していくにつれ、分からない言葉や概念が出てきますが、それは当然のことですので、気になさらず、とにかく行動を起こしながら、その都度、ご自身専用のノートにメモしていただき、スキル体得のための情報をストックしていただければと思っています。

では早速、FXの基本的な事柄について、ナビゲートしてまいります。

【目次】

- 1 FXとは？
- 2 FX市場におけるメジャーな通貨とは？
- 3 これは押さえておきたいFX基本用語
(しくみ編)
- 4 これは押さえておきたいFX基本用語
(トレード編)
- 5 FXのメリット・デメリット

初心者のためのFX入門ガイド

1 FXとは？

FXとは、「Foreign Exchange」を略した言葉でして、
一般には、「**外国為替証拠金取引**」と呼ばれています。

自身が用意した証拠金をもとに、
(トレードにするにあたって、業者さんに預ける資金のことを指します)
為替差益、即ち、価格が変動するという性質を利用して、
価格差を取っていく取引のことを言います。

このことを「**差金決済取引**」という方もいらっしゃいます。

これはどういうことかと言いますと、
**実際に例えば、現物のドルと円を交換することなく、
証拠金として預けた「円」だけで、取引を完了させ、
買った価格と売った価格に差が出たときに、損益を確定させていく、
あるいは、確定されていく、取引形式のことを指しています。**

このように言われるとなんだか難しく聞こえますが、、、
海外旅行に一度でも行ったことがある方でしたら、
このFXをしているはずですよ。ただしこの場合は、お金を増やす！
という意味合いよりも、単純に「両替」目的かとは思いますが^^

1 FXとは？

また、表現を換えてお伝えしますと、

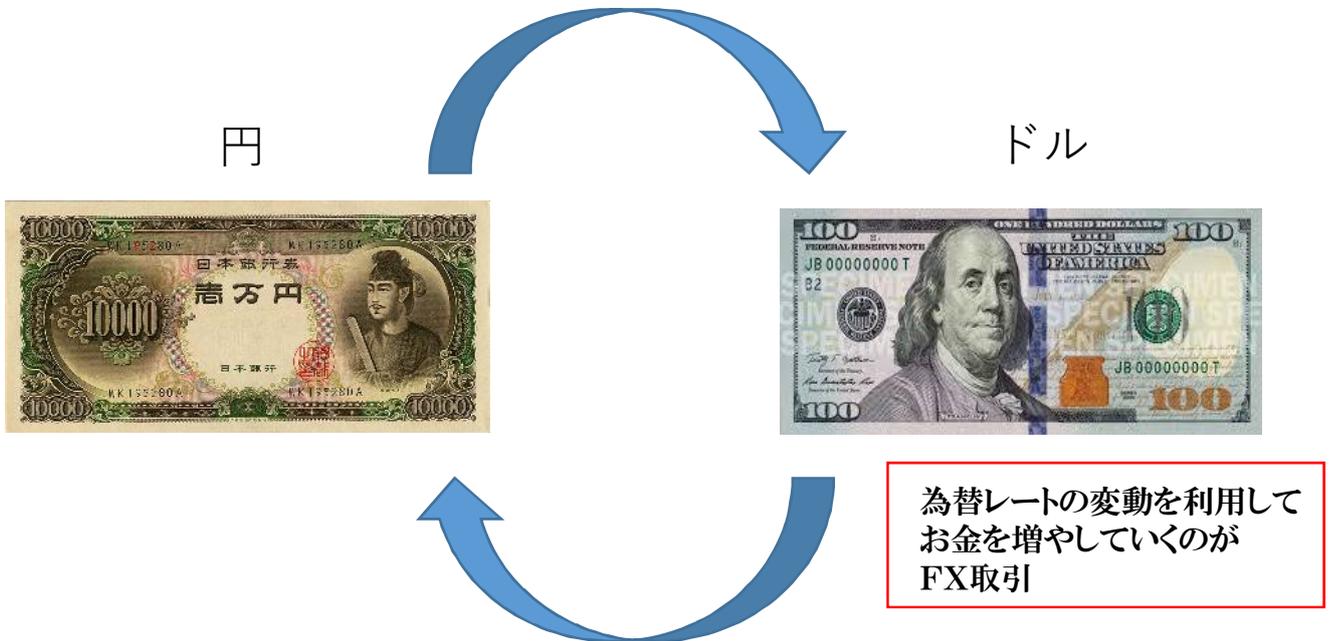
あるA国の通貨とあるB国の通貨を交換できるという仕組みを利用して、つまり、実際にある国の通貨と交換することなく、円という通貨(口座に預けた証拠金)のみで、例えば、ドル円の価格と価格の差を狙って、まさに価格差のみで、損益が決まってしまう取引になります。

そして、当然ではありますが、交換を通じて、その価格差を狙いにいき、お金を増やしていこう！というのが、FXの目的となります。

次のページで、図を使って補足してまいります！

初心者のためのFX入門ガイド

1 FXとは？



注: 為替の交換レートは、1米ドル→100円とします。

100万円を元手に1万米ドルを買い、
1米ドルが100円から101円になったとします。
ちなみですが、この時の変動幅は1円(100pips)となります。
この時、1万米ドルは101万円に換算されます。

そして、このタイミングで、1万米ドルを売ったとすると、
(つまり、円にまた交換するということです！)

円は、100万円から101万円に増えていますので、
1万円の儲けとなります。

繰り返しますが、実際にFX取引では、実際に現物の外国通貨と
交換することはありません。非常にシンプルな取引です^^

トレードを一度体験しますと、すぐに意味が分かることでしょう！

2 FX市場におけるメジャーな通貨とは？

外国為替市場(FX市場)では、多くの通貨ペアが存在し、日々何百兆円という取引が繰り広げられていますが、その中でも、非常にメジャーな通貨についてお伝えします。

【米ドル】

基軸通貨とされており、世界中から相対的に一番信用されている通貨として、貿易や資本取引の決済通貨として、世界中で流通している通貨です。

通貨ペアとしては、ドル円、ユーロドル、ポンドドル、ドルカナダ、が有名です。また、水平線メソッドでも、これらの通貨を推奨しています。

【ユーロ】

ヨーロッパにおいて、多くの国々が加盟採用している通貨として、米ドルほどではありませんが、それに次ぐ取引規模を誇ります。外国為替市場において、このドルとユーロ。つまり、ユーロドルの通貨ペアが一番多く取引されています。

【円】

日本円は、米ドルとユーロに次ぐ、取引高を誇ってしまして、ドル円という通貨ペアは、非常にメジャーなものになっています。日本人トレーダーにおきましては、非常に馴染みのある通貨として、ドル円のみでトレードをしている方も居るぐらいです。値幅自体は他の通貨に比べますと、やや小さいですが、年間通じて、安定した動きをしやすいのが特徴の1つとなります。

3 これは押さえておきたいFX基本用語 (しくみ編)

【ロング/Ask】

買い注文、買いの執行をすること。

【ショート/Bid】

売り注文、売りの執行をすること

【Pips】 ピプスと呼びます

取引する際の値幅の最小単位を表した言葉。
例えば、ドル円100.00が100.01になったら、1 pips。
100.10になったら、10 pips。
簡単に言いますと、1 pips 1 銭となります！

【ドルストレート】

米ドルが通貨ペアに組み込まれている通貨ペアを言います。
例としては、ユーロドル、ポンドドル、ドルカナダ、オージドルなどです。

【クロス円】

外国為替市場で、例えば、ユーロと円を直接交換することが出来ないため、まず、円をドルに替え、それからユーロに替えるプロセスとなりますが、まとめますと、米ドル以外の通貨と日本円のペア。
例えば、ユーロ円、ポンド円、オージ円、カナダ円、これらをクロス円と呼んでいます。

3 これは押さえておきたいFX基本用語 (しくみ編)

【ロット/Lot】

トレードを執行する際の取引単位のことを言います。
日本国内では、1ロット=1万通貨を表していきまして、
1枚と表現したりもします。

まとめますと、
1ロット=1万通貨=1枚となり、
1ロットあたりの証拠金は、通貨ペアにより異なりますが、
2018年9月現在、4万円～6万円程となります。

注:業者さまによっては、1ロット10万通貨のところもあります。

【スプレッド】 いわゆる売買手数料と思っても差し支えありません。

売値と買値の価格差のことを言います。
業者さんは、このスプレッドによって、収益を確保しています。
ですので、買った瞬間、あるいは、売った瞬間は、
基本的な理解としましては、口座の数字は、微々たるものでありますが、
マイナスから始まります。

【レバレッジ】

レバレッジとは、一般的には、テコの原理のことを指していますが、
FXにおいては、大きな金額を市場に投入したときと同じ
リスクとリターンを少ない証拠金で得られることを指しています。
日本国内では、個人が25倍、法人が50倍～200倍となっています。

3 これは押さえておきたいFX基本用語 (しくみ編)

【成行注文】

市場(チャート)の状況をみながら、現在レートでその場で売買すること。つまり、自身で指定した価格での注文でなく、市場のその時点における価格で注文を入れることを言います。

【指値注文】

レートがこの価格になったら売買するという注文でして、予め、自身が決めた価格で取引が成立(約定とも言います)することを言います。市場の状況によっては、自分が決めた価格とは若干ズレた価格で成立することもあります。

【逆指値注文】

レートがこの価格になったら売買するという注文方法でして、これは、指値注文と同じなのですが、違いは何かと言いますと、

指値は、現在の価格より安く(高く)なったら買う(売る)、

逆指値は、現在の価格より安く(高く)なったら売る(買う)、

という注文方法となります。

【メタトレーダー4/MT4】

JTAでも推奨しているトレードするための無料のチャートソフト。このソフトを使って、分析、シナリオ構築、トレードを執行していきます。

4 これは押さえておきたいFX基本用語2 (トレード編)

【水平線】

レジスタンスライン(抵抗線)、サポートライン(支持線)とも呼ばれ、レジスタンス、サポートをまとめて、シンプルに「抵抗」と呼ぶこともあります。

このラインは、市場参加者に意識注目されているラインになり、水平線メソッドにおいても、トレードに駆使していく大変重要な道具として、まずは、このラインを意味あるポイントに引けるかが、目標の1つとなってきます。

【トレンドライン】

相場は、波を形成し、ジグザグに動きながら、高値や安値を作りますが、この時、切りあがっている安値同士を結ぶことを上昇トレンドライン。切り下がっている高値同士を結ぶことを下降トレンドラインといいます。

このラインを引くことによって、現在の相場傾向を掴んだり、相場傾向の変化(トレンド転換)を掴むことができるようになります。

【移動平均線/MA】

インジケータの1つとなり、水平線メソッドにおいては、補助補完的役割となりますが、ローソク足の終値のデータを基に自動でチャートに表示されるラインとして、今、買いが優勢なのか、売りが優勢なのか？あるいは、上昇傾向か下降傾向かを示唆してくれるインジケータとなります。20日移動平均線(20MA)が採用されていることが多いです。

5 FXのメリット・デメリット

【メリット】

- ・ 株式と違い、銘柄(FXでいうところの通貨ペア)が少ない
 - 通貨選択で悩むことはほとんどありません！
 - 補足として、メジャー国の通貨が消滅することは、まずないので、株式と違って紙切れになることはほぼない。
- ・ 個人でも世界最大の金融市場にアクセスすることができる。
 - 1日500兆円前後取引されています。
 - 流動性が豊富ですので、売買が拒否されることは、まずありません！500lot(5億円相当)でも約定(売買成立)されます。
- ・ レバレッジが効かせられる
 - 5万円前後からFX市場に参入できるため、少額から資産構築を始めることができる。

次のページで、デメリットについてお伝えします。

5 FXのメリット・デメリット

【デメリット】

- ・ 土日を除いて、24時間市場がオープンしている
 - これは一見すると、メリットのように感じるかもしれませんが、逆に、いつでも売買ができてしまう分、相場のことばかり、気にしてしまう可能性があります。健康を損なう可能性もあり、予めのスケジュールリングが非常に大切になります。
- ・ 必要以上にレバレッジを効かせられる
 - 個人の場合は、日本国内において、2018年9月現在、レバレッジを25倍まで効かせられますが、実際に25倍も効かせる必要があるかと言いますと、答えは「ノー」となります。

基本的な理解としては、レバレッジ10倍程度効かせることができれば十分に収益を上げることができます。

もちろん、それ以上のレバレッジでトレードすることは可能ですが、その分、期待しているリターンに対して、リスクを増大してしまい、安定したトレードが実現しにくい可能性があることを、頭の中に留めておいておきましょう！

初心者のためのFX入門ガイド

いかがでしたでしょうか？

この特典では、「FX初心者のためのFX入門ガイド」について、お伝えしてきました。

入門ガイドとはいえ、初めてこのFXの世界に触れた方にとっては、専門用語だらけで、もしかしたら、イメージが出来ない、分からないことだらけ？だったかもしれません。。。

しかし、心配は無用です。誰でも皆はじめは、分からないことだらけからスタートします。今から10年前の2008年、私(著者)自身も分からないところからスタートしました。

そこから、1つ1つ調べながら、有料無料のセミナーに何百回も足を運びながら、学習と実践を繰り返し、理解を深めてきました^^

ですので、あなたも学習、そして、実践を重ねながら、1つ1つクリアしていけば、同じように理解を深めスキルを獲得していくことが可能です。

未来にワクワクしながら、学習と実践を重ねながら、ライフスキルと一緒に体得していきましょう！！

ここまでお読みいただき、ありがとうございました^^

ナビゲータ 兼 講師

中村 拓哉